



三春中学校だより

第 31 号

発行日 令和 元年 9 月 20 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【心を込めて演奏しました！ ～これまでの歩みに感謝して練習し、歌い、演奏しました。～】

9月16日(日)は、三春地区の敬老会の日でした。わが三春中合唱部と吹奏楽部が演奏の機会を得て、まほらにお集まりのみなさんを前に、一生懸命、心のこもった歌声、音色を響かせました。

学校での練習に取り組む姿は真剣な中にも和やかな温かい雰囲気がありました。CGに置かれたピアノを中心に、円く輪を描いて練習する姿を放送室前のベンチに腰掛けて歌声を聞きながら、音楽ってすばらしいなあと再確認しました。

敬老会当日は、顧問2名の引率のもとでの参加でした。9:30からのオープニングに登場したのは合唱部の面々。曲は、『365日の紙飛行機』。大切なものは、どうなったかという結果ではなくどう生きたかというその過程ではないかという意味の歌詞は、心にぐっとくるものがありました。やや緊張気味の表情に見えましたが、演奏が進むにつれ部員の体が左右に揺れだし、どうしたのかなあ。具合でも悪いのかなあとみていると、なんと、そういう演出でした。

敬老会の式典では、町長様やご来賓のみなさんからお話をいただき、敬老者代表のごあいさつは、本校前同窓会長の幕田様でした。次の『しあわせ金婚夫婦』の表彰に引き続き、いよいよ本校の出番。アトラクションに移り、まずは、再び合唱部。その後、黒いスーツに身を包んだ顧問の指揮による吹奏楽部の演奏と続けました。曲は、『スポーツ行進曲』、そして、あの美空ひばりの名曲『川の流れのように』。でこぼこ道や曲がりくねった道を一生懸命歩み、今の日本という国をつくってこられた会場のお年寄りの方々のみなさんの後ろ姿に心からの感謝の気持ちが湧いてきました。

合唱部と吹奏楽部のみなさん、演奏すばらしかったですよ。みんなの心を込めた音楽のプレゼント・メッセージはしっかり伝わったことでしょう。会場からの拍手がそれを証明していました。



【生き方について学ぶ！ ～第3学年職業シンポジウムを開催しました。～】

9月13日(金)の3・4校時、第3学年において、職業シンポジウムを開催しました。

4名の講師の先生においでいただき、その職業観や勤労観、そして、その講師の先生が働く上で、生きていく上で大切になさっていることなどについて学びました。

お菓子屋さん、大工さん、お肉屋さん、薬屋さん、その職業はさまざまでしたが、それぞれの講師の先生からお教えいただいたことについてまとめてみました。

お菓子屋さんの高橋先生からは、“三春”という地の利を生かし、和菓子でお客様に季節を感じてもらえるようなお菓子屋さんでありたい。自己肯定感の土台には郷土愛がある。家業の伝統、三春という地の歴史を大切にしていきたい。チャンスやメリットをどう生かすか、デメリットまでも生かすという生き方もある。どこにでも面白さはある。今を乗り越えたところに面白さはある。一つにこだわる必要はない。生きていくためには多様な選択ができるような情報収集に努めようというお話をいただきました。

大工さんの壁寸先生からは、この仕事はお客様からの依頼で仕事が始まる。お客様と共に夢をつくっていく、形にしていく仕事である。だから、お客様の要望をしっかりと聞くことが大切である。家ができあがるまでには、設計士、解体屋、基礎屋、クレーン屋、大工、足場屋、瓦屋、板金屋、内装屋、設備屋、電気屋、外壁屋、塗装屋、クロス屋、建具屋、サッシ屋、外構屋、ハウスクリーニング屋などなど25を超える会社に関係してくる。だから、人と人とのつながりを大切にすること、

まけないこと、逃げ出さないこと、今は不本意でも決して無駄はない、そして、挑戦することで世界は広がっていくというお話をいただきました。

お肉屋さんの伊藤先生からは、学校、食堂、旅館などさまざまな場所にお肉を届けている。おいしいと言ってくれるお客さんのため、そして、家族のために早朝3時から仕込みをする日もある。今、世の中には60万人以上のニートがいる。何のために働くのかという自分なりの目標をもって生きてほしい。イケメンチから三春の名物グルメンチへ、それはみんなで考え開発したからこそできたものである。考える力を身につけたい。そして、考えたものは口に出したい。発信する力も仕事の上、生きていく上には大切であるというお話をいただきました。

薬剤師の濱田先生からは、薬剤師は、講演、プールの水質等の検査、室内の照度検査、給食室の立ち入り検査などあまり知られていないがいろいろなことに携わっている。薬剤師になるためには6年間の勉強が必要になる。薬剤師は薬のいらぬ体づくりのお手伝いもする。ガンは2人に1人が罹り、3人に1人が亡くなるというが、予防のできる生活習慣病である。仕事に際しては、何のために自分の仕事があるのかというビジョンづくりが大切である。得意な分野を生かした将来の職業選択は自己肯定となるが、自分のよさや強みは必ずしも他から認められるものとは限らない。人と人のつながりを大切に、自分のできないことは他に頼る人がいればいい。自分が大事だと思えるものを大切にしていってほしいというお話をいただきました。

その後、4名の講師の先生方には4箇所に分かれていただき、さらに詳しくお話をうかがいました。4名の講師の先生方は、いずれもその道の“先達”であります。そのお話の一つ一つに重みがあり、その堂々としたお姿には、自身の職業に対する“誇り”とでもいうものを感じました。4名の講師の先生の職業観、勤労観、人生観にふれ、第3学年の子どもたちは生きていく上でのかけがえのないメッセージをいただきました。間もなく進路選択の時期を迎えます。どうぞ今回いただいたアドバイスを生かしていってほしいと思います。



【社会の仕組み、伝えることについて学ぶ！～立会演説会・選挙を実施しました。～】

9月18日(水)の6校時に、生徒会立会演説会・選挙を体育館で行いました。早朝から生徒昇降口で選挙運動を展開し、当日はステージ上にあがり、選挙管理委員長さんのあいさつの後、それぞれがそれぞれに選んだ役職にどんな思いでどんな具体策をもって臨むかを訴えていました。生徒のみならずと一緒に、もちろん、先生方も一緒に、よりよい三春中学校をつくってほしいと訴えました。リーダーには、幅の広い、相手の立場に立った見方・考え方が必要です。これからも、自らの主義・主張を大切にしながらも、聞く側を意識し、聞く人に伝えるように伝える力を身につけ、『共に、ひたむきに』そして、『こころ豊かに』生徒会づくりに取り組み、三春中の一人ひとりの生徒のみならずが『命の輝き』を発揮しながら安心して生活できる学校をめざしてまいります。

